

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***富田資料：富田弘一郎氏の遺品 スライド926枚デジタルアーカイブ**

アーカイブ室新聞第561号(2012年1月4日)に「富田資料：月レーザー望遠鏡建設時のアルバム収蔵」という記事を書いた。今回は富田資料の第2弾である。富田弘一郎氏は、2006年5月に81歳で亡くなっている。その富田さんの遺品の多くは、出身の川崎天文同好会に譲られたが、同会に渡らず残されたほとんどの遺品を国立天文台天文情報センター・アーカイブ室で2011年8月にいただいた。今回、その中のスライドの入った段ボール箱のスライド全てをデジタルアーカイブとして取り込んだので報告する。

スライドはケース35箱に入っており、総数で926枚あった。富田さんのスライドが1000枚足らずということも考えにくいから、これは恐らくスライドの一部であろう。他にもスライドの入った箱があるものと思う。スライドのケースには、「アルプス」、「ベルン」「月レーザー」などのメモ書きがあるが、メモ書きと内容はほとんど一致していない。したがって、箱に番号を打って、何番の箱に何枚ということにした方が良かったかとは思いますが、デジタルデータとして読み込むときに書いた筆者のメモ書きで整理すると、

富田 (ハワイ他)	05-1	: 31 枚
富田	05-2	: 23
	05-3	: 26
	05-4	: 21
	05-5	: 24
	05-6	: 15
	05-7	: 33
富田 MHO		: 36
アルプス		: 19
キノ (木曾)		: 21
20111228	28-1	: 26
	28-2	: 24
	28-3	: 26
	28-4	: 21
20120104	04-1	: 21
	04-2	: 24
	04-6	: 25
	04-8	: 26
	04-9	: 24

20120105 05-1 : 24

05-2 : 24

ニース : 6

パリ : 7

ムードン : 4

リヨン : 39

25-55 : 31

ハワイ : 32

ピック : 27

ベルン : 33

木下・青木 : 19

20120110 10-1 : 37

10-2 : 38

10-3 : 33

月レーザ : 35

天王星 : 24

ピック 2 : 19

リヨン 2 : 28

合計 926 枚 である。

例として、「月レーザ」と書かれたケースに入っていたスライドのサムネイルを紹介すると写真1のようになる。



月レーザ-01



月レーザ-02



月レーザ-03



月レーザ-04



月レーザ-05



月レーザ-06



月レーザ-07



月レーザ-08



月レーザ-09



月レーザ-10



月レーザ-11



月レーザ-12



月レーザ-13



月レーザ-14



月レーザ-15



月レーザ-16



月レーザ-17



月レーザ-18



月レーザ-19



月レーザ-20



写真1 「月レーザー」と書かれていたケースに入っていたスライド

写真1のサムネイルを見ると、「月レーザー」に関係したスライドは2枚(写真2、3)で、これは月レーザー望遠鏡の主鏡研磨時のものと思われる。他のものはハワイのマウナケア、カリフォルニアのパロマーの写真のようである。

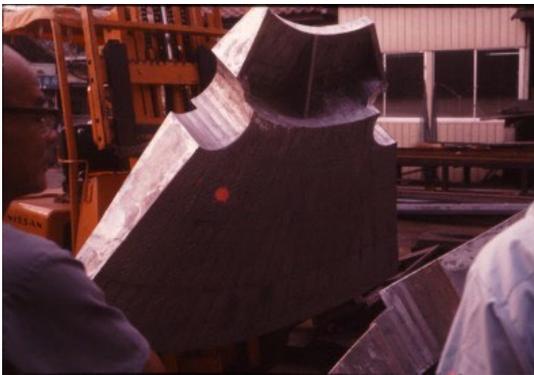


写真2



写真3

筆者は「すばる」建設中の8年間、ハワイに滞在したので写真4のようなマウナケア・サポートサービスの事務所(写真4)も分かるのである。



写真4



写真5



写真6

写真5はマウナケア山頂の富田氏、写真6はマウナケアの景色である。

写真7は、マウナケアのハワイ大学2.2m望遠鏡である。

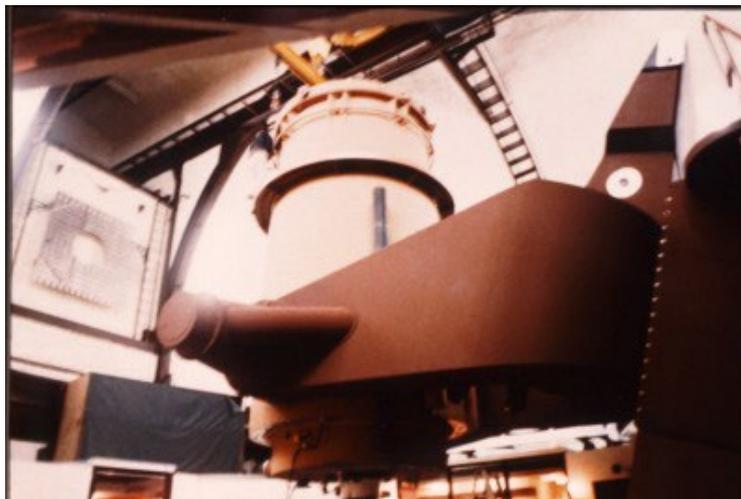


写真7

写真8はパロマー天文台のシュミット望遠鏡である。



写真8

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp